

東北白鳥会 17年度総会プログラム

日時；平成17年6月15日（水） 13時30分～14時20分
会場；仙台市福祉プラザ11階 第一研修室
仙台市青葉区五橋2丁目12-2
☎, 213-6237

次第； 1, 会長挨拶 渋谷 章
2, 会歌 高橋 美和 先生
3, 定例総会
 (1) 祝辞 来賓各位
 (2) 議長選出
 (3) 議題 (ア) 平成16年度事業報告
 (イ) 平成16年度決算報告
 (ウ) 平成16年度監査報告
 (エ) 平成17年度事業計画
 (オ) 平成17年度予算（案）
 その他

東北白鳥会医学講演会

会場；仙台市福祉プラザ11階，第1研修室
時間；14時30分～15時30分（1時間の予定）

演題；

風邪やインフルエンザ
肺炎にどう対処するか？

「呼吸不全に陥らないために」

講師； 東北大学加齢医学研究所，呼吸器腫瘍研究分野
 医学部付属病院，遺伝子・呼吸器内科
 東北大学医学部助教授 渡辺 彰 先生

（講演終了後、質問をお受けします）

平成16年度事業報告書

自；平成16年4月 1日

至；平成17年3月31日

1. 組織基盤の確立と支援組織の確保

村上きみ子前会長が6月27日に逝去されました。9月20日に渋谷章会長を選出し、会員一同が団結し活動が続けることができました。また、行政、医療、議員、賛助会員の方々からも継続して温かいご支援を頂きました。今後も会員の増強、事務局体制の強化などに努めて参ります。

2. 会報の発行

「白鳥」を5回発行しました。会報を通じて会員相互の親睦・交流を図ること、また医師が患者の声に大きな関心を持っています。会員皆様方の積極的な投稿をお待ちしています。なお、呼吸器障害者の救済運動に生涯を捧げた村上きみ子前会長を忍び、追悼特集号を発行しました。

3. 医療情報誌の発行

共同募金会のご支援と先生方のご協力をえて、「医療情報誌」としての「白鳥」を四回発行しました。

4. 医学講演会の開催

5月29日に仙台市福祉プラザで、東北大学飛田渉教授の「息をすることの不思議」と題する講演会を行い、約150人が熱心に受講しました。

6月16～18日の日本老年学術総会に参加し、白鳥会のブース展示と公開講演を受講しました。また、ミント主催のCOPD、及び呼吸不全東北地区対策協議会主催の研究発表と特別講演にも参加しました。

5. 呼吸リハビリ教室の開催、パルスオキシメーターの貸与

仙台市は呼吸リハビリ教室を9～10月に5回コースで計画し、白鳥会も積極的に協力しました。また仙南保健所のご協力をうけ、大河原町で呼吸リハビリ教室と、パルスオキシメーターの指導を実施しました。参加者は13人でした。(帝人さんにも協力を頂きました。)

仙台市ではパルスオキシメーターの給付対象者を、16年度から障害者4級まで拡大(15年度は3級以上が対象)実施することに改正しました。

また宮城県は、パルスオキシメーターを活用した「呼吸器障害者生活訓練事業」を16年度に実施し、パルスオキシメーターの購入資金の交付を受けました。これにより、宮城県内の呼吸器障害者にパルスオキシメーターを貸し出し、普及啓蒙を図る活動を実施しました。(大河原町での呼吸器教室もその事業として実施したものです)

6. 呼吸器疾患患者団体連合会の活動

村上前会長の後任に渋谷会長を推薦、決定しました。10月20日に第一回の総会が行われ、各団体から活動状況などを報告し、今後の活動方針を討議しました。その結果「認定の適正化・医療環境の整備・呼吸器疾患の難病の認知」などについて、検討し進めることになりました。

また、患者団体が「在宅ケア」に関するアンケート調査を実施することを決定、東北白鳥会も12月に会員の皆様にご協力をお願いしました。こ

のアンケート調査の結果については、17年4月に行われた日本呼吸器学会で、患者団体代表者から発表しました。なお、アンケート調査結果については、詳細の検討が終わり次第、資料が送られてくる予定です。

7. 白鳥会単独の活動

呼吸器疾患患者団体連合会とは別に、東北白鳥会単独でも活動をしましたが、主なものは

- ・4月に、宮城県医師会の師会長に「呼吸器障害者の救済」について陳情しました。
- ・6月に坂口厚生労働大臣に「呼吸器障害者に2級を新設」することなどの陳情と「患者団体連合会の結成」について説明しました。
- ・9月に、公明党浜四津副代表に「福祉と介護」について、問題を提起しその改善を陳情しました。
- ・宮城県にパルスオキシメーターが「生活用品」に追加指定になるよう、中央に強く働きかけるよう陳情しました。
- ・この他、議員・議会・行政などに、陳情・請願をしました。
- ・身体障害者福祉協会の、理事会・評議員会・団体長会・身障者相談員研修・身障者団体ネットワーク会議・福祉大会・患者団体交流会・ヘルスケア交流会などにも参加しました。
- ・山形県支部は難病連に加入し、山形県に要望書を提出し、知事と直接話し合うなど活発に活動しました。東根市では在宅酸素支援事業として月額3,000円を支給することを決定しました。

8. 禁煙・環境の整備

宮城県・仙台市などに、公共施設などの禁煙・バリアフリーなどについて要望しました。仙台市では、車椅子の歩道での安全通行についての要望にそったと思われる工事がみられます。また、禁煙については、医学会や医師会でもCOPDの予報など積極的に取り組んでいます。いまや禁煙は国際的にも大きな流れとなってきています。

9. インフルエンザワクチン接種の勧奨と費用の一部助成

東北大学渡辺先生のご指導も頂き、予防接種の効果を「白鳥」により周知し予防接種を勧奨し、その費用の一部を助成しました。17年度においても、この施策を継続実施したいと考えています。

10. その他

- ・総会を5月29日に福祉プラザで開催し、多くの会員が出席しました。
- ・村上きみ子前会長の「お別れ会」を8月19日に行い、白鳥会を理解しご支援下さっている多くの方々が参列して下さいました。なお、生前の活動の様子ビデオ上映や、エピソードのお話に参加者一同感動し、ご冥福をお祈りしました。
- ・1月23日にはチャリティ舞踊「花柳雅好舞いそめ」が東北電力ホールで行われ、多額のご寄付を頂きました。また、議員・医療機関・医師・会社・賛助会員など、多くの方々から温かいご支援を頂き、心から感謝申し上げます。

(22)

平成16年度 東北白鳥会収支決算書

平成16年4月1日～平成17年3月31日

収入の部

△印減 単位 円

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
会 費	600,000	459,000	△ 141,000	入会、会費
賛 助 金	700,000	577,500	△ 122,500	賛助医師その他多数
寄 付 金	500,000	569,860	69,860	舞初、卸町支援会他
補 助 金	750,000	1,198,000	448,000	県、市、県共同募金、仙台市社協、他身協
雑 収 入	5,000	186,015	181,015	総会祝儀、預金利子、山形県支庫納付金
繰 越 金	1,315,408	1,315,408	0	前年度より繰り越し
合 計	3,870,408	4,305,783	435,375	

支出の部

△印減 単位 円

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
会 議 費	100,000	104,318	4,318	総会・役員会等
集 会 費	300,000	199,999	△ 100,001	リハビリ講習会、レクリエーション
印刷製本費	1,150,000	894,835	△ 255,165	会報、チラシ印刷代
通信運搬費	500,000	410,787	△ 89,213	会報送達費、切手代、電話代
旅 費	500,000	194,776	△ 305,224	旅費、各種会合出席、市内通勤等
消耗品費	200,000	630,140	△ 430,140	事務用消耗品等、パルスオキシメーター代
備 品 費	200,000	0	△ 200,000	次年度に購入を延滞
渉 外 費	120,000	163,491	43,491	各種団体等の渉外費
負 担 金	80,000	66,760	△ 13,240	各種団体への負担金、インフルエンザ予防助成金
事 務 費	200,000	89,808	△ 110,192	コピー代、ゴム印代等
支 部 費	100,000	100,000	0	各支部の必要経費
予 備 費	420,408	492,571	72,163	協会長お別れ会
合 計	3,870,408	3,347,485	△ 522,923	

平成16年度収入額 4,305,783円－支出額 3,347,485円＝次期繰越 958,298円

会計監査報告書

平成16年度 東北白鳥会収支決算書

平成16年4月1日～平成17年3月31日

収入之部	4,305,783	円
支出之部	3,347,485	円
差引次年度繰越金	958,298	円

上記について諸帳簿、帳票等を監査したところ、正確に処理されていることを認め報告いたします。

平成17年4月27日

監事

小川

宏



監事

梅津加知子



平成 1 7 年度 事業計画書

東北白鳥会

事業項目	内 容	備考
組織基盤の確立と支援組織の確保	渋谷会長のもと新しい体制を整備し、呼吸器障害者の為の白鳥会活動を継続できるよう組織態勢の確立を図る。	
会報「白鳥」の発行。	会員情報誌として「白鳥」を定期3回・臨時2回発行し会の活動・障害者に関する情報と会員の投稿を掲載する。	
医療情報誌の発行。	呼吸器障害者に必要な新しい福祉・医療情報を提供啓蒙するために医療情報誌を年4回発行する。なおこの事業には、共同募金会から配分金交付の支援を頂いている。	
医学講演会、呼吸リハビリ研修会等の開催。	医学講演会を開催し、患者の日常生活の指針として啓蒙と普及を図る。また仙台で開催予定の呼吸器管理学会の講演会にも参加する。仙台市の呼吸リハビリの充実定着に向けて協力し、会員にはリハビリが「即延命」に結びつくことを啓蒙し、リハビリへの参加を呼びかける。厚労省には患者の症状にそった個別指導の復活を要求していく。	
日本呼吸器疾患患者団体連合会活動への参加、及び行政への働きかけの実施。	「呼吸器疾患患者団体連合会」活動に積極的に参加し、学会の指導を得ながら「障害者二級の新設・医療環境の整備や難病の認知」などの問題解決に取り組む。アンケート結果について、白鳥会としての分析検討を行う。また東北白鳥会単独での障害者救済活動も推進する。	
会員の相談支援及び会員相互の親睦を図る。	会報や命の電話等により会員の相談支援活動を行う。また高齢で一人暮らしの会員が増加しており、会員相互の親睦連携を図るよう積極的に取り組む。	
禁煙、バリアフリー等生活環境の改善、整備活動。	公共施設内の禁煙・分煙化はすすんでいるが、多くの人が集う場所等にも広めるよう運動を進める。また公共的な建物や道路等のバリアフリー化を促進し、低肺者が安心して生活できる生活環境の整備を提起する。	
インフルエンザ予防接種の助成。	平成16年度に引き続き、インフルエンザワクチンの予防接種を奨励し、その費用の助成を行う。	
ホームページの充実。	過去に白鳥会のホームページを見て、入会した会員もあり、また最近呼吸器患者会への関心が高まっていると考えられるので、ホームページの充実を検討する。	

平成17年度 東北白鳥会収支予算書

平成17年4月1日～平成18年3月31日

収入の部

△印減 単位 円

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
会 費	600,000	600,000	0	入会・会費
賛 助 金	700,000	700,000	0	賛助医師その他多数
寄 付 金	600,000	500,000	100,000	舞初池
補 助 金	750,000	750,000	0	県、市、県共同募金、仙身協
雑 収 入	5,000	5,000	0	総会祝儀、預金利息
繰 越 金	958,298	1,315,408	△ 357,110	前年度より繰り越し
合 計	3,613,298	3,870,408	△ 257,110	

支出の部

△印減 単位 円

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
会 議 費	100,000	100,000	0	総会・視学会等
集 会 費	300,000	300,000	0	リハビリ講習会、レクリエーション
印刷製本費	1,000,000	1,150,000	△ 150,000	会報、チラシ印刷代
通信運搬費	500,000	500,000	0	会報発送費、切手代、電話代
旅 費	500,000	500,000	0	旅費、各種会合出席、市内連絡等
消耗品費	300,000	200,000	100,000	コピー用紙代、事務用消耗品
備 品 費	200,000	200,000	0	
渉 外 費	150,000	120,000	30,000	各種団体等の渉外費
負 担 金	80,000	80,000	0	各種団体への負担金
事 務 費	150,000	200,000	△ 50,000	コピー代等
支 部 費	100,000	100,000	0	各支部の必要経費
予 備 費	233,298	420,408	△ 187,110	
合 計	3,613,298	3,870,408	△ 257,110	

東北白鳥会 役員名簿 (順不同)

顧問	藤村重文	名誉院長	東北厚生年金病院
顧問	佐々木英忠	名誉教授	東北大学
顧問	白土邦男	名誉教授	東北大学
顧問	飛田涉	教授	東北大学 医学部
顧問	近藤丘	教授	東北大学 医学部
顧問	上月正博	教授	東北大学 医学部
顧問	貫和敏博	教授	東北大学 医学部
顧問	佐藤忍	院長	坂総合病院
顧問	須藤守夫	院長	須藤内科クリニック
顧問	高橋敬治	院長	山形至誠堂病院
顧問	高前田真作	主任部長	寿仙堂総合病院呼吸機科
顧問	師研也	会長	宮城県医師会
顧問	千田典男	会長	仙台市医師会
顧問	林雅人	院長	平鹿総合病院
顧問	田村豊一	院長	田村内科クリニック
顧問	篠野昌弘	教授	東北大学 工学部
顧問	佐藤俊哉	院長	内科 佐藤病院
顧問	福田陽一	院長	福田内科クリニック
顧問	阿部靖	先生	貝山中央病院整形外科
顧問	菊地亮	院長	菊地内科クリニック
顧問	岡山道子	部長	仙台循環器病センター
顧問	福島健泰	院長	桜ヶ丘クリニック
顧問	三木誠	部長	仙台日赤病院
顧問	渡辺彰	助教授	東北大学加齢医学研究所
顧問	大内清昭	院長	LCクリニック仙台
顧問	高橋昭		宮城県芸術会会員

理事	大友良	岡田功	佐々木信一
会長	渋谷幸		
副会長兼宮城県支部長	鷹嘴嘉逸	事務局長	斎藤和子
副会長兼県北支部長	遠藤功	会計	高橋明子
仙台市支部長	門脇みつ子	事務局員	須藤清子
仙南支部長	半沢綾子	同	松尾貞子
藝館支部長	林憲子	同	高橋正幸
気仙沼支部長	大和田ことね	同	早川健司
青森支部長	鳴海昭子	同	飯田澄子
三沢支部長	伊藤務	同	窪木とし子
山形支部長	吉田清治	同	大場栄子
福島支部長	井上英夫	同	小池彦次
福島市支部長	冨田裕子	会計監査	小川宏
二本松支部長	高橋栄志	同	梅津加知子

◎ 一支援有り難く存じます。

低肺機能者の現状と苦しみを第一線にて最も密接に把握し、日夜その治療に当たられている各地の先生方が東北白鳥会を二十余年もお支え下さっており、会員一同感謝に耐えせん。ご支援金をお送り頂いた先生のお名前を掲載させて頂き、会員への励ましとしたいと思います。

なお、誤・脱字・肩書・役職名などの記載、その他お気づきの誤りが多々あると思しますので、何とぞお手数でもご教示賜りますようお願い申し上げます。
事務局

(順不同)

宮城県

仙台市青葉区

加藤内科医院 院長 加藤 俊和 先生

土樋一丁目

古川内科医院 院長 古川 洋太郎 先生

広瀬町

抗酸菌病院 院長 白石 晃一郎 先生

通町

加々見外科医院 院長 加々見 佳年 先生

西花苑一丁目

佐藤医院 院長 佐藤 恵郎 先生

中山四丁目

仙台厚生病院 副院長 中井 祐之 先生

広瀬町

台原まことクリニック 院長 高橋 誠 先生

台原五丁目

佐藤裕也眼科医院 院長 佐藤 裕也 先生

五橋一丁目

周行会内科佐藤病院 院長 佐藤 俊樹 先生

上杉二丁目

仙台錦町診療所 所長 広瀬 俊雄 先生

三条町

柴崎内科医院 院長 柴崎 篤 先生

八幡四丁目

大宮内科医院 院長 大宮 光昭 先生

台原一丁目

東北大学附属病院 教授 上月 正博 先生

星陵町

東北大学付属病院 教授 飛田 涉 先生

星陵町

仙台市宮城野区

熊谷内科小児科医院 院長 熊谷 サチ子 先生

宮千代一丁目

仙台市泉区

福田内科クリニック 院長 福田 陽一 先生

泉中央一丁目

大澤内科医院 院長 大澤 寛寿 先生

住吉台東二丁目

根白石診療所 所長 児玉 秋生 先生

根白石

仙台循環器病センター 部長 岡山 道子 先生

本田町

石巻市

久門医院

院長 久門 俊勝 先生

黒川郡大和町

細越整形外科医院

院長 細越 悠夫 先生

垂水町三丁目

南鱒山内科

院長 佐藤 俊蔵 先生

吉岡
宮城郡七ヶ浜町

新仙台湾診療所

渡辺 智子 先生

多賀城市

関口医院

院長 関口 澄雄 先生

境山
巨理郡山元町

村松クリニック

院長 村松 吉一 先生

古川市

古川星陵病院

院長 岩淵 悟 先生

遠田郡小牛田町

光仁医院

院長 李 錫昌 先生

気仙沼市

鈴木医院

院長 鈴木 千加良 先生

遠田郡田尻町

たじり中央クリニック

院長 佐藤 茂幸 先生

岩沼市

森川内科医院

院長 森川 治三 先生

登米郡迫町

菅原内科クリニック

理事長 菅原 盛家 先生

中川医院

院長 中川 潤 先生

桜四丁目

南東北病院

院長 人見 浩 先生

青森県
青森市

NTT青森健康管理センター所長 菊地 久子 先生

名取市

金澤内科胃腸科医院

院長 金澤 義彦 先生

青柳二丁目
社会福祉法人桜木会

理事長 東海林文一郎 先生

白石市

三浦内科医院

院長 三浦 義邦 先生

八戸市

坂本内科クリニック

院長 坂本 良明 先生

柳町

吹上

小山二丁目

久栗坂

十和田市

市立中央病院

部長 工藤 優 先生

上北郡

工藤医院

院長 工藤 晃 先生

上北町

秋田県

大館市

石田病院

院長 石田 真 先生

御成町三丁目

北秋田郡鷹巣町

たむら内科クリニック

院長 田村 豊一 先生

鷹巣町栄

岩手県

盛岡市

須藤内科クリニック

院長 須藤 守夫 先生

盛岡駅西通り二丁目

水沢市

県立胆沢病院

院長 伊勢 忠男 先生

龍ヶ馬場

山形県

最上郡最上町

医療法人永井医院

理事長 永井 俊一 先生

向町

福島県

原町市

ふどり循環器診療所

所長 島 国義 先生

上波佐

いわき市

永井病院

堀川 一博 先生

植田町

田村郡

県立三春病院

斉藤 光正 先生

三春町

東白川郡

福島県立厚生病院

森藤 隆夫 先生

東京都

国立病院機構東京病院

芳賀 敏彦 先生

高田馬場

長崎県

長崎呼吸器リハビリクリニック

様

平成十六年四月から平成十七年三月三十一日まで
ご支援を掲載させて頂きました。